



家庭教育サポーター養成研修会

「家庭教育サポーター養成研修会」が長岡市立劇場を会場に、9月7日から始まりました。この研修会は、地域の家庭教育・子育てを支援する人材を養成するために、平成14年から実施しています。過去4年間で223の方が修了し、今年度は、15市町村から54名の参加がありました。

研修は、6回シリーズ7日間です。主な内容は、「食生活の重要性」「乳幼 児期から思春期までの発達課題と親子関係」「児童虐待の現状と理解」「発達障害をもつ子どもへの理解と援助」など講義の他に、カウンセリングの技法を学ぶ演習など広範囲に渡ります。

第3回研修では、長岡市内3箇所の子育て支援センターを見学しました。子育て支援の現場を見学し課題意識を新たにしたい受講者は、午後の「子育て支援アイデア会議」で活発な意見交換を行いました。

第4回は、10月5日・6日と連続でカウンセリング研修をしました。「話し上手より聞き上手」「悩みの解消を通じて変化を助ける」などカウンセリング・マインドで接するための講義の後、4班に分かれて演習をしました。

修了者の情報交換や研修会を企画する「サポーターネットの会」が平成16年度末に発足し、県下に広がっている家庭教育サポーターの活動を支援しています。



第2回研修 吉田病院 新田初美講師

「発達障害を持つ子どもへの理解と対応」



第3回研修

「子育て支援センター見学後の話し合い」

家庭教育サポーターステップアップ研修会

～社会全体で子どもをはぐくむために～

この研修会は、すでに地域で活動している家庭教育・子育て支援リーダーの資質向上と家庭・地域の教育力の向上を支援する中核的人材の養成を目的に企画したものです。

受講対象者は、当センターで実施した家庭教育サポーター研修会の修了者で現在地域で活動されている方と行政担当者です。過去2年間は新潟市での開催でしたが、今年は出前講座で長岡市立劇場を会場に、9月26日から12月にかけての4日間の研修に20名が参加者して行われています。

研修の1回目はグループワークトレーニングを通じての人間関係作りの基本を学び、自己を見直すよい機会となりました。

2・3回目の埼玉県・新座子育てネットワークと山形県・やまがた育児サークルランドの取組についての事例研修では、お互いの活動の紹介を通して、それぞれの地域性を見つめ直したりしながら、有意義な情報交換を行いました。

4回目はワークショップで「チームを効果的に運営する・コーチング型マネジメントについて」学習を深めます。

今後、修了者間のネットワークがさらに広がることを期待しています。



アイスブレイキング「肩の力を抜いて」



3つの窓で「私の旗作り」

当センターで実施している教育メディア研修会では講義を主とする概論に続き、コンピュータの実技を行う演習を実施しています。今年度の演習の初級編は、次のような内容です。

- 1 日目：著作権とウェブページの作成（1日コース）
- 2 日目：ビデオ撮影の基礎と
コンピュータを使ったビデオ編集
（1日コース）

(1) 著作権とウェブページ作成

この研修では、まず著作権についてビデオ視聴やテキストを使って学習しました。次に、いろいろなウェブサイトを閲覧した後、複数のページを作成し、それらのページにリンクを張ることを、一人一台のコンピュータ環境で研修を行いました。

◎アンケートにお答えいただいた受講者の声を紹介させていただきます。

①研修の内容について

「著作権について、教えてもらったのはよかった。」
 「様々な学校や機関のウェブサイトをじっくり見ることができて、良い点がわかり、理解を深めることができました。」
 「ウェブページは、ラフスケッチが大事と思った。」
 「ウェブサイトの作成の流れがわかってよかった。」
 「ホームページの作成運営について迷っていた時に様々な助言を頂き、大変参考になりました。」
 「研修は、大変魅力的で参加意欲をそそるものばかりです。」

②研修の環境や方法について

「分からないことも丁寧に教えてもらった。初心者にもわかりやすい指導だった。」
 「個々の疑問についてその都度答えて頂いてわかりやすかった。」
 「素晴らしい機材が整えてあり、また研修に参加したいと思いました。ゆったりとした日程になっており、気持ちよく参加できました。」



ビデオ編集

(2) ビデオ撮影の基礎とビデオ編集

ビデオの研修では、素材になるビデオを撮影することから始めています。ビデオ教材（作品）のよしあしは、もともになるビデオに大きく左右されるからです。パソコンの性能等が向上し、コンピュータを使ったビデオ編集も簡単にできるようになりました。1日コースで、ビデオ撮影から編集までを研修しました。

◎この研修でも、受講者の声を寄せていただきました。

①研修の内容について

「すぐにでも授業に役立つ内容でした。」
 「今まで単にビデオを撮るだけでしたが、いろいろな編集ができて、良かったです。」
 「意外に簡単に教材が作れることがわかりました。様々な工夫ができて、おもしろかったです。」
 「何を作るか何を撮影するか目的を持って作業することが大切だと思った。」

②研修の方法や要望について

「たいへんわかりやすい説明でした。資料もとても見やすかったです。」
 「実際にソフトを使ったことがなかったので、じっくりできて良かった。」
 「楽しく実習させていただきました。」
 「とてもためになり、楽しく受講できた。」
 「なかなかできない経験をさせてもらい、楽しく勉強になった。」
 「大変丁寧にご指導いただき、ありがとうございます。教材制作でまたお世話になります。」
 「このような視聴覚研修を受講する機会があまりありません。とても良い研修なので、ぜひ、今後も各学校に案内していただけたらうれしいです。」
 「学校の先生方が昨年参加させていただき、大変好評でした。講座を数多く実施していただけると、現場の先生方にはありがたいと思います。」
 「大ざっぱだった疑問点が具体的になった。その具体的な部分について、今後とも指導していただきますよう、お願いします。」
 「毎年とても勉強になる研修なので、来年も期待しております。」

◎この他にもたくさんの感想やご意見が寄せられました。ありがとうございました。

受講生の方々からお寄せいただいた感想や意見をもとに、教育メディア研修会をさらに充実させていきたいと思っております。ぜひ、ご参加ください。

映像教育の推進

16ミリ映写機操作技術講習会

当センターでは、「16ミリ映写機操作技術講習会」を教職員、県行政関係者及び大学生等を対象に毎年実施しています。16ミリフィルムの映像の鮮明さや色合いは、大変優れており、映像による教育は、広汎な知性や豊かな感性を育てます。学校や公民館等での利用はもちろんのこと、文化遺産の紹介や心の教育など、16ミリフィルムの活用方法は多様です。なお、今年度の講習は終了しましたが、興味のある方はお問い合わせください。



制作演習室でのグループ実習

当センターでは貸出可能な16ミリフィルムが1,800本、ビデオが1,200本ほどあります。タイトルや内容は、当センターが運営している生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」で検索できます。ご利用をお待ちしています。

なお、ご利用いただける対象は、県立の施設、高等学校や大学等の登録団体になります。

【市町村立の学校や地域の団体等は、県内の地域視聴覚ライブラリー・センター(ラ・ラ・ネット参照)をご利用ください。】

お知らせ

新潟県立青少年研修センター主催事業の案内

「いきいき体験学 パート4 福祉レク編」

◇日時:平成18年11月18日(土)～19日(日)

◇場所:県立青少年研修センター

新潟市越前浜5597-1

◇内容:福祉レクリエーションの演習をとおして
その基礎指導法や望ましい人間関係の在り方などを研修する。

◇定員:30人

◇対象:18歳以上の青年、青少年指導者等
(高校生を除く)

◇費用:2,360円(予定)

◇申込締切:11月11日(土)

◇問い合わせ:県立青少年研修センター研修課

TEL 0256-77-2111

● 新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

<http://www.lalanet.gr.jp/>

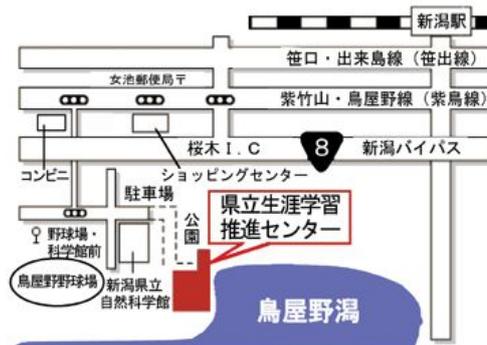
携帯版は、<http://www.lalanet.gr.jp/m>

● 家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」

TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019

● 生涯学習相談(兼新潟県体験活動等支援センター)

TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanet.gr.jp



“アンコール上映”決定！

映像で訪ねる“ふるさと”新潟県 ～タイムスリップ！ にいがた・冬編～

◇期日 12月2日(土)10:30～12:00 [開場10:00時]

◇会場 新潟県立生涯学習推進センター・ホール [186席]

◆備考 入場無料、申し込み不要

平成4年8月の開館を記念して、貴重な映像を広く県民に公開する『タイムスリップ！ にいがた』を、地域ICTフェスタ2006 inにいがたのマスコット「ミライス」が登場するなど、盛大に去る8月5日に開催しました。

昭和20年から40年代の県内主な祭や地域行事(歳時記)と第19回新潟国体の映像から、参加者は、「映像は一瞬 感動は永遠に…」「懐かしさは 新しさに…」「ふるさとにいがた 再発見！」「新潟のパワー(元気だしていこー！新潟)」を再認識し映像をじっくり鑑賞していただきました。

その反響と好評は大きく、アンコール希望に応じて、12月に『冬編』を上映します。更に、第3回『タイムスリップ！ にいがた』を、平成19年8月上旬に行う予定です。

《タイムスリップ！ にいがた・冬編》

—昭和元年から昭和46年制作の映像を公開—

1 「古き新潟市」(昭和元年制作:8分)

・湊町新潟の街並みの様子(無声)

2 「格子なき図書館」(昭和25年制作:11分)

・戦後利用者が自由に閲覧できるようになった図書館と活動の紹介

3 「白銀と若い力～新潟国体冬季大会～」

(昭和39年制作、カラー:20分)

・スキー王国「新潟県」の活躍の紹介

4 「美しい雪国にいがた」(昭和46年制作、カラー:20分)

・雪と冬を楽しむ県民を紹介

月1回の“感動”発 ⇒進化・深化・新化する“自分”着 映画・ビデオ鑑賞会のお知らせ



◆11月26日(日)13:30～15:50

①「となりの立場 うちの立場」

騒音を題材に、地域と隣同士のコミュニケーションを描いている。(29分)

②「ホーム・スイートホーム」

～誰にでも帰りたい家がある～

認知症を題材に、家族の絆を描いている。

・出演：神山 繁、酒井美紀(110分)

◆12月17日(日)13:30～15:15

①「かぜに まけるな」 (7分)

自作教材コンクール平成16年度最優秀作品

②「トム・ソーヤーの冒険」(90分)

◇入場無料、申込不要、先着順 (186席)

◇会場：県立生涯学習推進センター・ホール

◇運営：映画ボランティアの会

◇駐車：鳥屋野潟公園の駐車場

“さわやか”メール

サムシング・グレート (Something Great) とは、遺伝子解読の第一人者、村上和夫さんが使っている言葉です。今では約200種類の生物の遺伝子が解読されている。しかし、解読より書きこむ方がはるかに偉い。人のDNA塩基 30億個 が正確に書きこまれ、間違いなく働いている。これは神業に近いすごい創造力であり、村上さんはこういう力を「サムシング・グレート」と言っておられるのです。

このサムシング・グレートの精神の象徴が、「おかげさま」「いただきます」「もったいない」という日本人が育んできた感謝の心であり、自然と共生し、自然を敬う心と科学技術、経済力を持つことができるのは、世界で日本しかないと村上さんは言っています。

この精神が残念ながらスイッチ・オフになっており、これをオンにすることが、今、強く求められています。